公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属
永寿総合病院・柳橋分院・予防医療センター

広報誌 えいじゅ EIJU

VOL. 118
2024年２月発行

教えて！気になる病気の話
気胸について

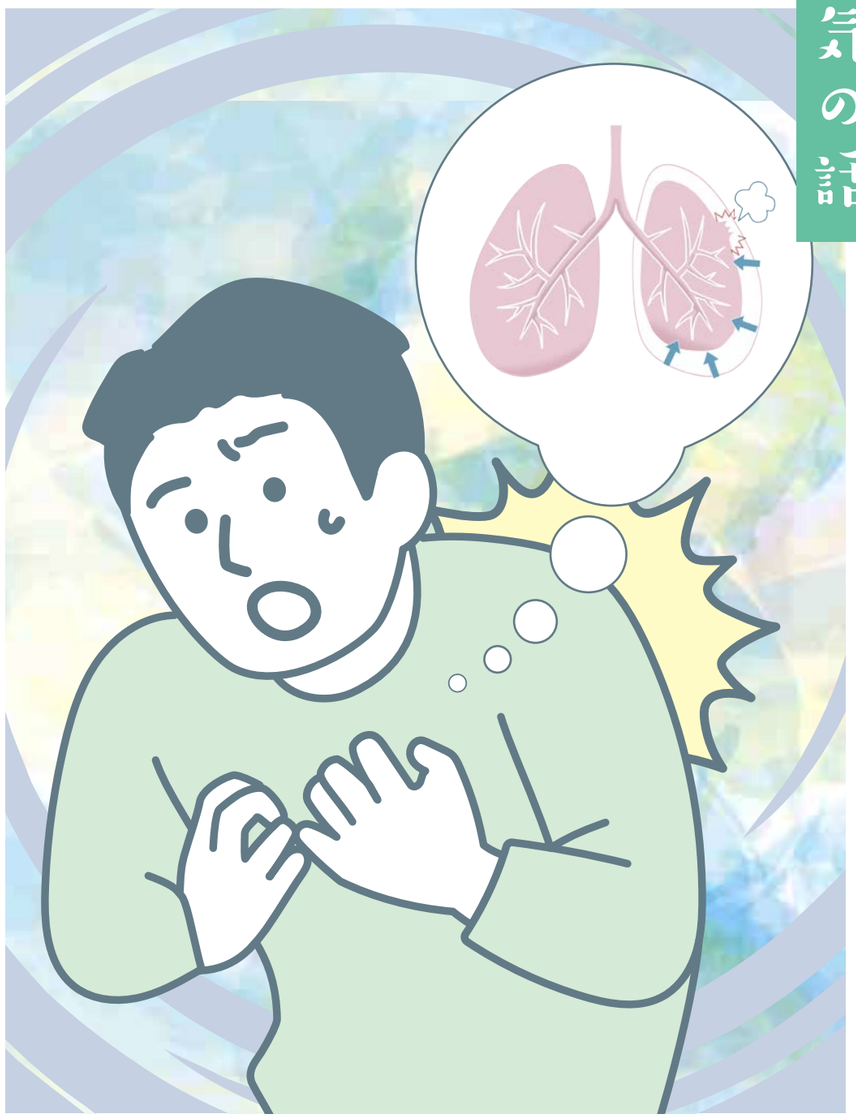
院長・センター長インタビュー

EIJUのできごと

上野・浅草　下町めぐり

教えて！気になる病気の話

気胸について



山本 純（やまもと じゅん）

呼吸器外科　部長

専門
呼吸器外科 / 救急 / 麻酔

◇ 日本外科学会　外科専門医・指導医
◇ 日本呼吸器外科学会　呼吸器外科専門医・評議員
◇ 日本呼吸器内視鏡学会　気管支鏡専門医・指導医・評議員
◇ 日本呼吸器学会　呼吸器学会専門医・指導医
◇ 日本がん治療認定医機構　がん治療認定医
◇ 麻酔科標榜医
◇ JATEC インストラクター

気胸とは、肺の表面に穴が空き、そこから漏れ出した空気によって肺が潰（つぶ）れてしまう病気です。原因が分かっていない**自然気胸**が最も多く、他には、喫煙・喘息・呼吸器感染症・ステロイドなどの薬の内服により肺が脆（もろ）くなって発生する**続発性気胸**、交通外傷などで強く肺を圧迫されたり、肋骨骨折による肺損傷により起こる**外傷性気胸**、異所性子宮粘膜の月経時の脱落により発生する**月経随伴性気胸**（ずいはんせい）なども あります。

突然の胸の痛みや息苦しさを感じたら・・・

どんな人がなりやすく、原因はありますか？

自然気胸の原因は、気圧や気候の変化、疲労やストレス・睡眠不足が誘因となっているとする意見もありますが、直接証明されているものはありません。痩せ型の若年男性（10～30代）は、体の成長に肺の成長が追いつかず、肺表面にブラまたはブレブと呼ばれる脆（もろ）い袋を形成してしまい、気胸の原因となると言われております。

続発性気胸については、呼吸器疾患や長年の喫煙歴などが原因となってくるためや高齢者に多く発生します。月経随伴性気胸は30～40代の女性に見られます。

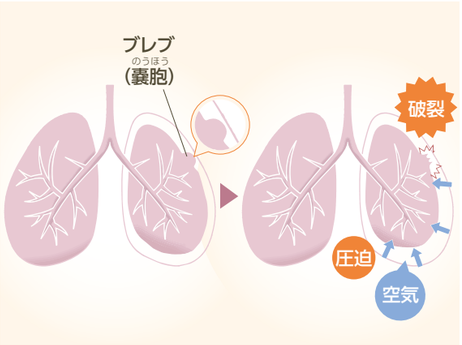


図　自然気胸の原因

発症したらどんな症状がでますか？

突然の胸部痛（肺虚脱側）や息苦しさが出ます。そのほかに乾いた咳が見られる事も多いです。運動時に起こりやすいと思われがちですが、なにも誘因なくリラックスしていた状態からでも突然発症することがあります。胸部外傷などが原因で強い空気漏れがあると、生命に関わる症状（低血圧性ショック、意識障害、低酸素血症など）をともなう「**緊張性気胸**」と呼ばれる病態を呈することもあります。

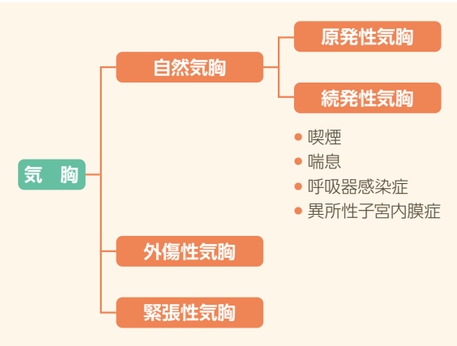


図　気胸の分類

診断はどのようにしてなされるのですか？

胸部レントゲン写真撮影や胸部CT検査により肺の虚脱を確認することでなされることが一般的です。簡易的には胸部超音波検査でも調べることができます。先ほど述べた緊張性気胸においては、画像検査をする時間的余裕がないほど危険な状態であるため視診・聴診・触診・打診など身体診察の基本的手技のみで診断を下す必要があります。

治療はどのような方法があるのですか？

肺の虚脱が軽度である場合、安静にして経過観察を行います。

肺の虚脱が中等度以上の場合は、胸の中にたまった空気を抜き出すために、肋骨と肋骨の間から胸の中にチューブを入れる（＝胸腔ドレナージ）必要があります。チューブは、チェストドレーンバッグと呼ばれる箱に連結されることで、たまった空気を一方通行的に体の外へ排出できるようにします。これらの道具が体に留置された状態でも大抵の行動は可能です。肺からの空気漏れがなくなれば、チューブの抜去を行い退院となります。この治療法による再発率は大体30～50％程度とされております。

胸腔ドレーンを留置しても空気漏れが止まらない場合や、気胸を繰り返す場合は手術が必要になります。手術では全身麻酔下に胸腔鏡と呼ばれるカメラで胸のなかを観察し、空気漏れの原因を特定し、空気漏れを起こしている肺を切除します。切除部から空気漏れが起こることもあり、当院では切除部を含む肺を医療用の被覆剤（ひふくざい）で覆うことで再発予防を行っております。切除される肺容量は数％程度で、手術により呼吸機能が低下することはほとんどありません。手術後の再発については5～10％程度とチューブ挿入のみよりは低くなっておりますが、0％とはならないことにご留意ください。手術後はトラブルがなければ2日後に退院していただいております。創部痛の管理が必要なため、退院後の通院を要しますが、術後初回外来で問題のない患者さまは、地域のクリニックや診療所のかかりつけ医へ紹介状をお書きします。地域の中で連携をとり、診療してまいります。

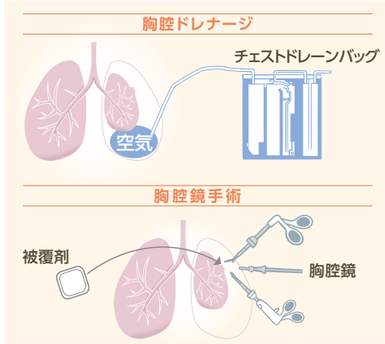


図　気胸の治療

院長・センター長 2024 インタビュー

2024年の干支は「甲辰（きのえたつ）」です。甲辰は「新しいことに挑戦して成功する、いままで準備してきたことが形になる」という意味があるようです。
甲辰の年にふさわしく、当財団が目指す今後の展望や抱負を各施設長に聞きました。

Interview

永寿総合病院

医療機能を高め、信頼される地域に根ざした病院に

院長　愛甲 聡

Profile
外科主任部長 兼任
専門は消化器外科（食道・胃・大腸）および一般外科
日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医
金（AM）木（PM）の外科外来を担当

本年は北陸の震災という不幸な知らせで幕開けとなりました。今は1月も中旬ですが、詳細が次第に明らかになるにつれて、災害の悲惨さや避難されている方々の厳しい状況に胸が詰まります。台東区の災害拠点病院の責任者としては、現地で実際に活動している医療従事者に頭が下がるとともに、南海トラフ地震に見舞われた際の自分達に置き換えてみて、改めて身が引き締まる思いです。

当院は災害拠点病院以外にも救急、産科、小児科をはじめとする区から託された地域のための医療機能を有していますが、区の中核病院として最新の医療を提供する義務もあると考えています。昨年末に導入した手術支援ロボット「ダヴィンチ」は2月末には稼働を開始する予定です。身体に優しい腹腔鏡手術がさらに進化して、より精緻な手術が可能になるでしょう。消化器外科から開始して、徐々に婦人科、泌尿器科と適応を広げていきます。保険診療で認められるロボット支援手術の種類も今後さらに増える予定ですので、本誌やホームページで随時お知らせいたします。

4月からは、消化器内科、循環器内科、総合診療内科、麻酔科で増員予定となっており、とくに若い先生が増えるのでより活気が増し、救急の患者さんもより手厚く診られるようになるでしょう。

永寿は今年も、地域の患者さんにも先生方にとっても「永寿があって良かった」と思ってもらえるような病院を目指します。引き続きご愛顧・ご支援の程よろしくお願いいたします。

永寿総合病院柳橋分院

COVID-19を乗り越え、さらなる進化を

院長　米丸 亮

Profile
専門は一般内科および呼吸器内科
日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会指導医
月（PM）水／金（AM）土（AM1・3・5週）の内科外来を担当

新年明けましておめでとうございます。平素より永寿総合病院柳橋分院をご支援いただき、誠に有難うございます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックは5年目に入りました。昨年から5類感染症の分類となり、制限緩和が開始されました。しかし、オミクロン株の変異株であるJN1が新しく出現し、世界的には再増加が顕著です。当院でも、昨年および本年にCOVID-19のクラスターが1件ずつ発生しました。面会制限に対するご家族のご協力に心より感謝申し上げます。また、昨年中に疥癬、ノロウイルス感染症、インフルエンザが入院患者さんに発症し、感染制御の難しさを実感しております。

柳橋リハビリテーションセンターは順調に稼働し、通所リハビリテーションを多数受け入れております。同センターで健康セミナーを4年振りに開催できました。リハビリ病棟の改築により、2室を個室化しました。40床をフル稼働できる能力が整い、患者さん受け入れの迅速化を目指します。

医療療養病棟では、コロナ制限の緩和を受け家族面会を再開しました。医療設備・機器の充実としては、新しいタイプのエアーマット導入を予定しております。また、嚥下内視鏡検査による嚥下評価が可能となりました。

外来診療では、火曜日午後の内科診察枠を再開できました。皮膚科診療は従来のように永寿総合病院の医師が担当します。

COVID-19により医療は大きなダメージを受けましたが、今年こそはCOVID-19を乗り越えてゆける年と信じております。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

永寿総合健診・予防医療センター

高まる健康意識に、ニーズに応じた健診を

センター長　小山 恭正

Profile
日本外科学会外科専門医、日本人間ドック学会認定医
予防医療センターでの診療と永寿総合病院で月（PM）の外科外来を担当

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

2023年はコロナ禍が一段落し、以前の生活を取り戻した1年でした。

受診される方はコロナ以前より増加しています。2022年同様初めて人間ドックを受けられる若い方が目立ちました。また2022年から台東区総合健診にオプションを付けられるようにしましたが、多くの方々にご利用いただいております。レディースデーは定期的に開催しておりご好評をいただいています。

いずれも皆様の健康への関心がより一層高まっていることが感じられる1年でした。

今年もより多くの皆様に良質な健診を提供するべくスタッフ一同気を引き締めていきます。

なお、パンデミックはおさまったものの、コロナやインフルエンザ等、日常的な感染症は増加していますので、感染対策は依然と同じレベルで行っています。ご面倒をおかけするとは思いますが、ご協力をお願いいたします。

本年もよろしくお願い申し上げます。

受付

待合室

女性更衣室

part6

EIJUのできごと

永寿を応援、ご支援して下さってる方にも、まだ永寿をよく知らない方にも。
地域のみなさま・医療機関さまに、
ぜひお伝えしたい永寿・三施設のさまざまなできごとをご紹介します。

永寿総合健診・予防医療センター

伊藤園　お～いお茶 MATCHA SHOT プレゼント企画＆アンケートキャンペーン実施中！

軽度認知障害（MCI）プラススクリーニング検査をご受診いただいた方全員に伊藤園 お～いお茶 MATCHA SHOT をプレゼントいたします。

また、検査後のアンケートご回答で、選べる e-GIFT1,000 円分プレゼントキャンペーンも行なっております。

詳しくはこちらから

ご受診いただいた方全員にプレゼント !!

『伊藤園 お～いお茶 MATCHA SHOT』をプレゼント
年齢とともに低下する注意力・判断力の精度を高める機能が報告されている「テアニンと茶カテキン」を含有する機能性表示食品です。
https://www.itoen.jp/products/48224/ より抜粋

検査後のアンケートご回答で、プレゼント!! (2024 年 3 月 31 日までに検査受診いただいた方)

選べる e-GIFT 1,000 円分

全部で 29 種類の交換先からお好きな商品を選べます！
当日のご予約も可能です。
詳しくは受付スタッフまでお問い合わせください。

※ギフト券はデジタルギフトとなり、ご入力いただいたメールアドレス宛の送付となります。当日お渡しでございませんのご了承ください。

MCI プラススクリーニング検査は認知症になるリスクがあるのかを知ることができ、認知症予防に役立つ検査です。

40 歳以上の方におすすめいたします！

この機会に、ぜひ人間ドックや健康診断のオプション検査としてご検討ください。

採血１本でわかる
軽度認知障害のリスク検査
MCIプラス スクリーニング検査

お申し込みはこちらまで
03-3833-7351
受付時間　月～金 8：30 ～ 17：00　土 8：30 ～ 12：00（日・祝除く）
お申込フォーム

柳橋分院　回復期リハビリテーション病棟

快適な療養環境の整備を進めております！

かねてよりご要望の多かった個室を新設し、2 床室も増床いたしました。

病棟内に free Wi-Fi を導入し、制限しておりました面会を再開するなど、中長期の入院期間が必要となる回復期リハビリテーション病棟での療養生活を快適にお過ごしいただけるよう、環境の整備・改善を進めています。

回復期リハビリテーション病棟はこちら

永寿総合病院

第15回 地域医療連携の会を開催しました

1 月 11 日、当院にて第 15 回地域医療連携の会を開催しました。この会は永寿総合病院と地域医療機関さまとの連携を密にすることにより、地域医療機関との機能分化を促進し、あわせて医療の質の向上に寄与することを目的として年 2 回行っております。湯浅理事長の挨拶で開会し、当院からの情報提供として、認知症疾患医療センターの概要や活動報告と救急センター 西川診療部長より当院の救急外来について紹介しました。当院に地域の医療機関さまが求めること、医療連携に際してのご意見などをいただき、大変貴重な機会となりました。

今後も地域の医療機関の皆さまとの情報共有や意見交換を行い、連携を深めてまいります。

開催の報告はこちら
https://www.eijuhp.com/news/iryo/20240111.html

地域連携セミナー

永寿総合病院　放射線科

1.5T（テスラ）MRI 装置を更新しました

日頃より、地域医療機関の先生方、ならびに予防医療センターのご受診者様、MRI 検査のご予約を賜り誠にありがとうございます。

今回更新しました最新ＭＲＩ装置は、解像度の向上やノイズおよび動きによるブレなどのアーチファクトに対してＡＩ（人工知能）が高度な補正処理を行います。これにより、これまで以上に安定したハイクオリティな画像を提供することができるようになりました。

ＭＲＩで問題となる圧迫感においては、装置開口部が 70 ｃｍと大きくなり、コイルと呼ばれる体の上に乗せる装置も毛布のように軽く柔らかな素材に変更されたことで、閉所恐怖症の患者さまにとっても優しい検査となっております。

放射線科では、「安全」「正確」「迅速」をモットーに、地域医療に貢献すべく努力してまいります。

放射線科の詳細

医療機関さま紹介用

発行　公益財団法人ライフ・エクステンション研究所　発行日　2024年2月6日　編集　永寿総合病院 広報委員会 / 財団事務局総務部広報課

第二回

上野・浅草 下町めぐり

――まちを知り、その歴史を知る

上野東照宮

数々の戦災を免れた貴重な金色殿

江戸時代初期1627年に創建された上野公園に鎮座する神社です。特に出世や勝利、健康長寿に御利益があるとされ、信仰されています。

東照宮は、徳川家康公（東照大権現）を神様としてお祀りしており、日光や久能山など、全国に数多く創建されました。

金色殿などの豪華な建造物は、戦争や地震にも崩壊を免れた貴重な江戸初期の建築として、国の重要文化財に指定されています。（公式HPより）

●●● 上野東照宮公式SNS ●●●

X @uenotoshogu

Instagram @uenotoshogu

まちを知り、その歴史を知ることで、地域への想いを深める「上野・浅草 下町まちめぐり」。第2回は、上野公園に鎮座する「上野東照宮」です。

訪れた日は、平日の午前中にもかかわらず多くの参拝者で賑わっていました。冬のぼたん苑も開催されていて、200株もの冬牡丹が綺麗に咲き誇っていました。

授与品や御朱印にはパンダのお守りや笑守、限定品など様々な種類があり、どの品を授かるか迷ってしまいました。今回は、透ける紙に龍などの美しい絵と箔が施された1月・数量限定の御朱印を授かりました。

皆さまもぜひ参拝に訪れてみてはいかがでしょうか。

皆様からの温かいご寄附をお待ちしております

永寿総合病院・柳橋分院・予防医療センターは運営に対し、企業や個人の皆様方から広く寄附金を受け入れ、その成果を通じて地域医療の向上や必要とされる医療を確保し社会貢献に役立てます。

なお、当財団への寄附は、税制上に優遇措置があります。（詳細についてはお問い合わせ下さい）

寄附金の使途

1. 病院に必要な設備の拡充
2. 病院に必要な機器・消耗品の購入
3. 成人病を中心とした予防治療等の調査・研究に使用します

お問い合わせ
お申し込み

財団事務局　寄附係
TEL　03 (3833) 8383

アクセス

地域医療支援病院 / 東京都災害拠点病院
永寿総合病院

回復期リハビリテーション / 医療療養型病棟
永寿総合病院 柳橋分院

日本人間ドック学会認定 / 日本脳ドック学会認定
永寿総合健診・予防医療センター

公式SNSはこちらから

X(旧twitter)

産婦人科インスタグラム

薬剤部インスタグラム